

公立大学法人名古屋市立大学第二期中期目標（案）の概要

【中期目標の期間】

平成24年4月1日から平成30年3月31日まで

基本的な考え方

全ての市民が誇りに思う・愛着の持てる大学像を着実に実現し、我がまちナゴヤの大学と実感できるよう、次の教育・研究及び社会貢献活動に率先して取り組む。

- ・ 医・薬・看護の医療系三学部を有する我が国唯一の公立大学として、その特性を活かし、市民の健康と福祉の向上に資する教育研究課題に積極的に取り組む。
- ・ その歴史と実績を活かして、次世代育成支援、地球環境の保全と社会環境の整備発展に関わる教育研究課題に重点的に取り組む。
- ・ 名古屋市民によって支えられる市民のための大学であることから、市民等からの寄附を教育研究などに役立てるとともに、市民及び地域への教育研究成果の還元を通じて、名古屋市の行政課題の解決を始めとした地域社会の発展に寄与する。

これらの取り組みを安定して推進する基礎として、教育力、研究力を強化するとともに、それを支える大学の運営基盤を整備する。

1 教育に関する目標

- ・ 大学教育の基礎となる重要な課程である教養教育を体系化し強化
- ・ 社会的な要請や時代の変化に対応し、教育実施体制を戦略的に検証・検討
- ・ ファカルティ・ディベロップメント（教育方法等を改善するための組織的な研究・研修等の取組）を体系的に実施し、教員の教育能力向上を推進
- ・ 多様な学生のニーズに応じた学習支援、就職支援、経済的支援、生活支援及び心身の健康管理の支援を充実
- ・ 学内外における学生の自主的な社会貢献活動を奨励・支援

2 研究に関する目標

- ・ 基礎的、応用的、開発的研究の各分野において、世界の水準で競争できる研究活動を推進
- ・ 社会のニーズが高い研究課題に対して、全学的支援体制を構築
- ・ 次世代を担う若手教員・女性教員の研究支援体制を確立

3 社会貢献等に関する目標

- ・ 教育・研究活動を通じて地域の諸課題の解決に協力するなど、地域と交流・連携したまちづくり活動に積極的に関与
- ・ 行政との協働的な関係を築き、行政諸課題の解決に向けて、政策ニーズと適合した提言などを通じて、名古屋市を中心とした名古屋都市圏の発展に寄与
- ・ 高等学校教育との連携強化をはじめ、教育委員会との協力関係をさらに推進

4 大学の国際化に関する目標

- ・ 海外の大学との大学間交流の充実を図るとともに、学生・教職員による国際交流に対する支援体制を整備し、国際化をより一層推進
- ・ 国際感覚豊かな人材を育成するとともに、国際的な共同研究、支援活動を推進し、地域の国際化への寄与や国際社会への貢献

5 附属病院に関する目標

- ・ 高度かつ先進的で、高い技術を要する医療に積極的に取り組むとともに、質の高い安全安心な開かれた医療を提供
- ・ 名古屋市が設置する医療機関を始め、地域の医療機関等と相互協力関係を強化し、社会貢献としての地域医療への支援など、地域住民の要請に応えられる医療を提供
- ・ 高い倫理観と優れた技術・見識を有する医療人を育成

6 業務運営の改善及び効率化に関する目標

- ・法人の自律的な運営の核となる固有職員の確保と育成
- ・教職員の大学や社会への貢献を評価する人事評価システムを的確に実施し、処遇等への反映に活用
- ・事務処理の定期的な点検、情報化等により、効率化・合理化を推進

7 財務内容の改善に関する目標

- ・適切な財務分析に基づく安定した財務運営の指標と指針を確立し、経営基盤を強化
- ・広く寄附が寄せられるような仕組みづくりなど、自己収入の増加に努めるとともに、業務の見直しを推進し経費を抑制
- ・土地・施設・設備等の資産の適正な運用管理のもと、有効活用を推進

8 自己点検・評価、情報の提供等に関する目標

- ・自己点検・評価を充実するとともに、評価結果を公表し、大学運営の改善を推進
- ・市民や社会に対する説明責任を果たすとともに、戦略的広報の充実を進め、大学の持つ魅力を社会へ強く発信

9 その他の業務運営に関する重要目標

- ・施設管理、学生の安全確保のほか、研究機関としての全学的な安全管理体制を充実するとともに、防災対策などの危機管理体制を強化
- ・男女共同参画推進の趣旨を踏まえ、教育、研究及び労働環境の整備を進めるとともに、女性教職員の増加や意思決定・政策立案過程への参画を促進
- ・倫理規範の遵守と業務の適正な執行を徹底し、社会的信頼を維持